



11/23 日

11:00~15:00

和和白干潟・海の広場 (福岡市東区和白4丁目)

《参加無料》 小雨決行、雨天中止



「風に吹かれて (ウラギクとシロチドリ)」

♥ マリンワールドの  
お魚水そうもあるよ!  
どんな鳥がいるかな?  
干潟の生きものと遊ぼう!



★ くわしくは2Pを見てね!

第37回



和和白干潟の自然を楽しもう!

ラムサール条約登録をめざして!

和  
白  
干  
潟  
ま  
っ  
い

# 第37回 和白干潟まつり

11月23日(日)



11:00～15:00 ●参加無料

★干潟の生きものと遊ぼう★

🐟 マリンワールドの

お魚水そう展示もあるよ！

.....

●会場 和白干潟・海の広場

(東区和白4丁目海岸) ※駐車場なし  
小雨決行・雨天中止

.....

■主催/ 和白干潟まつり 実行委員会

[構成団体] 和白干潟を守る会、  
グリーンコープ生協ふくおか 福岡東支部

■協賛団体/ 日本野鳥の会福岡支部、博多湾会議

お問い合わせ  
お申込み

松尾・090-9651-8489

★カンパなどのお願い★

第37回和白干潟まつりを成功させるために、  
皆様のご協力をお願いいたします！！

1. カンパは干潟まつりの運営資金や保険料などにあてます。
2. 他の会の機関誌にも干潟まつりの案内を掲載したり、チラシの配布にもご協力下さい！

★カンパの送り先：和白干潟を守る会  
郵便振替01720-4-23860

★飲食物もあります！

★参加される皆さん、長靴・敷物・水筒を  
持って来てね！

ラムサール条約登録をめざして

- ★今年もラムサール宣言を出します！
- ★福岡市長のメッセージが届きます！

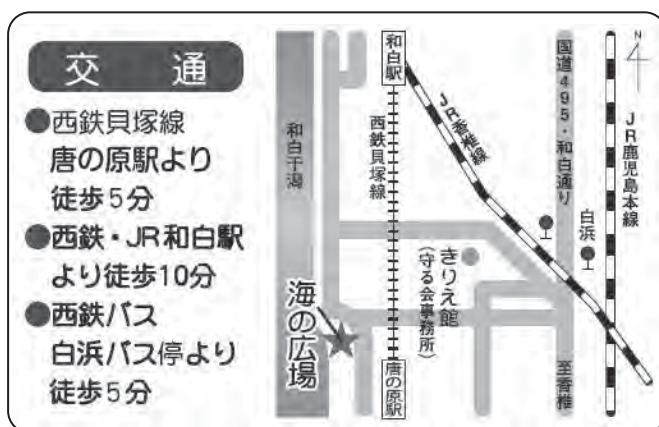
★プログラム★

|                          |             |
|--------------------------|-------------|
| 開会式                      | 11:00～11:20 |
| ラムサール宣言                  |             |
| バードウォッチング                | 11:20～12:00 |
| 自然あそび                    | 12:00～12:35 |
| 植物観察                     | 12:40～13:15 |
| 干潟の生物観察                  | 13:20～14:00 |
| ステージ                     |             |
| コーラス、紙芝居<br>マジックショー、ギター他 | 12:30～14:00 |
| 一言アピール                   | 14:00～14:15 |
| 手をつないで                   | 14:15～14:25 |
| 干潟の掃除                    | 14:30～14:50 |
| お魚水そう展示                  | 11:20～14:50 |
| 写真展・パネル展                 | 11:20～14:50 |
| 模擬店                      | 11:30～14:50 |
| 閉会式                      | 14:50～15:00 |

★干潟まつり ボランティア募集!!

- 前日11/22(土) 15時～ 会場整備
- 当日11/23(日) 9時～ テント設営  
運営手伝いなど

★ 応援お願いしま～す ★



駐車場なし

公共交通機関をご利用ください。





## ★ 観察会などのようす ★ (今林 眞由美)

### 7月19日 第15回「和白干潟の生きものやハマボウを見る会」



今年は海の広場周辺にハマボウの群落が広がって綺麗に咲いているので、海の広場での観察になりました。2003年に牧の鼻でハマボウを発見し、2005年から和白干潟を守る会で「ハマボウを見る会」を毎年開催し見守ってきました。現在は「和白干潟保全のつどい」主催です。

講師の藤井暁彦さんの案内で干潟に入り、生きものを観察しながら沖まで行きました。海の広場に

戻って観察した生きものの紹介やゲームの結果発表をしました。

「遠浅の海でいろんな生きものが観察できてよかった」などの感想があり、好評でした。23名参加 回収ごみ3袋(山之内)



ハマボウの花

### 8月26日 杉浦陽子さんご夫妻和白干潟案内

日本消費者連盟発行の「消費者レポート」誌に和白干潟を守る会の活動や私の和白干潟がテーマのきりえ作品を何度か紹介していただいたご縁で、編集長の杉浦陽子さんご夫妻を和白干潟ときりえ館に案内し、きりえ作品を連盟と杉浦さんに寄贈しました。

「護岸のない干潟は素晴らしい」と喜んでいただきました。日本消費者連盟は、1969年の創設以来「すこやかないのちを未来につなぐ」をモットーに食の安全、環境保全、脱原発、人権、平和を訴えて活動し、「消費者レポート」誌を毎月発行しています。(山本)



### 9月27日 国際ビーチクリーンアップ・ごみデータ調査



国際ビーチクリーンアップは、世界的規模で一斉にごみ調査をする催しです。9月27日の和白干潟クリーン作戦では、22名が参加し38袋のごみを回収しました。海岸のごみを回収した後、人工ごみ班と自然ごみ班に別れ、ごみを分類し集計しました。直前に雨が降ったため、参加者が少なかったです。

人工ごみは33種類に分類されました。特に多かったのはペットボトル、次が食品の包装袋でした。

調査には九州産業大学宗像ゼミの方々などに協力していただきました。(山本)

# ★和白干潟の秋の自然だより★ (山本 廣子)

## ハマサジ (イソマツ科)

(環境省レッドリスト：準絶滅危惧、福岡県レッドデータブック：準絶滅危惧)



ハマサジ

ハマサジは本州、四国、九州の海岸の砂地や塩性湿地に生える多年草です。多くの葉がロゼット状に生え、葉の形が匙のようで「ハマサジ」と名前がついたのだと思います。花茎は30～60cmで多くの枝を分け、小枝の先に多数の花がついていて、細い穂となっています。海の広場の海岸付近に群生しています。白や黄色い花がたくさん咲いていてきれいですが、小さな花なので目立ちません。以前は少なかったのですが、和白干潟が気に入ったのかどんどん増えています。しかし、和白干潟の他の場所では見たことがありません。自然海岸のある海の広場付近が好きなようです。冬には花が枯れて、ロゼット状の葉が残ります。

## ハマトビムシ (ハマトビムシ科) 体長1 cmくらい

ハマトビムシ類は砂浜で生活して、そこに漂着する海藻類がハマトビムシの餌です。打ち上げられた海藻の下を見ると、たくさんのハマトビムシがぴょんぴょんと跳びはねて飛び出してきました。日本の海岸性ハマトビムシ類は8種類が上げられていますが、和白干潟にいるハマトビムシがどの種類か識別できません。図鑑を送っていただいたのですが、小さいので「ヒメハマトビムシ」か「ニホンヒメハマトビムシ」かなと思います。主に植物性遺物の分解者で、ミミズのような働きをしています。ハマシギなどシギ科鳥類の重要な餌になっています。



ハマトビムシ

## キアシシギ (シギ科) 全長25 cm



キアシシギ

キアシシギは和白干潟では旅鳥として春と秋に訪れています。海岸の水際や干潟で餌を食べています。「ピューピュー」と澄んだ声でよく鳴きます。満潮時には防波堤上に群れて休んでいます。木の上に止まって休むこともあります。足が黄色いので、キアシシギと名前がつきました。雌雄同色です。和白干潟では、奈多のクリークで多く見られます。河口や干潟にも少し来ています。ソリハシシギも一緒にいることがありますが、渡来時期はキアシシギの方が早いようです。少し遅れてソリハシシギの群れがやってきます。この2種が中型のシギ類になります。

シギたちは秋には干潟の色に似た地味な色合いになりますが、動きが早く水際にいるので、よく見ると見つかります。



## ★7/3「福岡市マスタープランで博多湾開発についての説明会」報告

福岡市のマスタープランで博多湾の開発や埋め立て計画の現在と今後について、港湾空港局の説明会がありました。結果は「第10次福岡市基本計画」の通り今後10年は、博多湾の開発や埋め立ては計画されていないとの説明がありました。守る会から、将来においても和白干潟が開発されないように、博多湾東部（和白、多々良）を国指定鳥獣保護区の特別保護地区に指定してラムサール条約に登録し、法律で和白干潟を開発から守ることなど市の取り組みを求める要望をしました。（海野）

## ★7/14 福岡県「ふくおかプラごみ削減応援サイト」に 「和白干潟のグリーン作戦参加募集」が掲載されました。

今回初めて、福岡県のホームページに「和白干潟のグリーン作戦と自然観察」が掲載されました。担当部署は、福岡県環境部循環型社会推進課で、7月14日の「ふくおかプラごみ削減応援サイト」に掲載されました。8月と9月も掲載されました。

### ラムサール条約登録地を訪ねて ⑨ 田辺 スミ子 イギリス(ウエールズのコンウィ川河口、スコットランドのローモンド湖)

4月21日から6月15日にかけてイギリスを訪ね、海外のラムサール条約登録地を訪問しました。イギリス国内のラムサール条約登録地は179箇所と、世界で最もラムサール登録地が多い国です。

最初に訪れたのは、ウエールズのコンウィ城が有るコンウィ川の河口です。こちらは1976年にイギリスで最初に登録されたところです。広大な面積を持ち、河口から干潟、樹林帯へと広がり、湿地帯、樹林帯、湖を見て廻りましたが、湖ではたくさんの種類の水鳥たちに出会うことができました。和白干潟でもおなじみのミヤコドリ、ツクシガモ、オオバン等の他、コハクチョウ、カナダガン、カモメ類も見かけました。河口や干潟にも行きましたが、干潟にはゴカイのきれいなフン塊やボウアオノリその他、初めて見る海藻もたくさん生えていました。



次に向かったのが、スコットランドの湖です。スコットランドには多くの湖が点在し、ラムサール条約に登録されている湖だけでも51箇所もあり、今回はローモンド湖を見学しました。ローモンド湖はスコットランド地方最大の面積を持つ湖で、長さ39km、幅8kmと広大な広さを誇り、2006年に登録されました。貯水量としては、あの有名なネス湖に次ぐ貯水量だそうです。イギリスでは最も希少な越冬鳥類の1種で、絶滅危惧種に指定されているグリーンランドマガンが生息している貴重な湿地です。

### ●気が付いたらあなたも電話してください！

▼海辺のゴミやアオサを取ってほしい時・自分でゴミを拾った時  
092-282-7146（港湾空港局・維持課）

▼沖のアオサを取ってほしい時  
092-282-7154（港湾空港局・みなと環境政策課）

●弱った野鳥を見つけた時→ 092-513-5611 福岡県筑紫保健福祉環境事務所 地域環境課  
092-643-3367 福岡県環境部 自然環境課 野生生物係

### ＊ ＊ お 願 い ＊ ＊

- 干潟でのゴルフやラジコンの練習、ドローンの使用はやめましょう！とても危険です。
- 干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう！（ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止）
- 犬のフンの始末は飼い主がしましょう！



## ●2025年 6月

- 6/3 (火) 春期シギ/チドリ調査報告書作成
- 6/4 (水) 和白小学校4年生の和白干潟観察会
- 6/5 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 6/8 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
- 6/11 (水) イオンイエローレシートキャンペーン
- 6/16 (月) 和白干潟通信154号編集会議
- 6/28 (土) 定例会議・「ラブアース2025」参加のクリーン作戦

## ●2025年 7月

- 7/3 (木) 「福岡市マスタープランで博多湾開発について」説明会参加
- 7/3 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 7/8 (火) 和白干潟通信154号発送会
- 7/11 (金) イオンイエローレシートキャンペーン
- 7/12 (土) 「山・川・海の流域会議」会議参加
- 7/13 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
- 7/19 (土) 第15回和白干潟の生きものやハマボウを見る会
- 7/26 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察

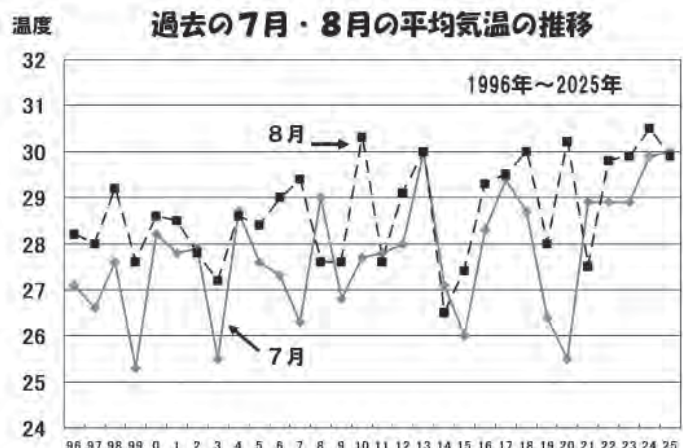
## ●2025年 8月

- 8/3 (日) 2025年度秋期シギ/チドリ調査1回目(今津)
- 8/7 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 8/8 (金) 2025年度秋期シギ/チドリ調査1回目(博多湾東部)
- 8/11 (月) イオンイエローレシートキャンペーン
- 8/19 (火) 第37回和白干潟まつり第1回実行委員会
- 8/23 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 8/27 (水) 和白干潟通信155号編集会議



## 干潟のつばやき「干潟が暑い」

今年の夏も猛暑が続いています。気象庁の発表では7,8月の平均気温が、平年気温(過去30年間の気象データから算出された平均気温)に比べて2.36度高かったそうです。下のグラフは7, 8月の福岡市の過去30年の平均気温を表わしたものです。30年前は、27~28度だったものが、2024, 25年度では、30度になっています。30年間で平均気温でも2~3度上昇しています。気温の上昇は、海水温を上昇させ干潟の生きものたちにもダメージを与えます。8月後半の和白干潟では、発生したアオサがちぎれて腐敗していました。和白干潟のアオサは、秋になれば渡ってくるカモたちの餌になるもので、なくてはならないものもあります。腐った状態ではなく生きいきした状態でなければなりません。和白干潟が生きものたちに住みやすい干潟であるようなどうか、この地球温暖化を止めなければならないですね。





# ★ 和白干潟のこと ★

(松尾 満子)

(今林 眞由美)

70年以上前のこと、和白干潟に家族で貝堀りに行きました。「アサリはたくさん採れたから、今度はビナ（ウミナ）を採っといで」と母の声。「は〜い」元気に動き回るビナをたくさん捕まえ母の元へ。「これ全部ヤドカリよ」家族の楽しい笑い声。4〜5歳頃の初めての和白干潟の思い出です。

時を経て奈多団地に住みました。子供の授業参観の日、教室の窓から和白干潟方面を見ると、海を覆いつくす数のシギやチドリの乱舞にウットリ。子供の参観もせずに干潟を眺めていました。その頃私は生協の理事をしていました。

博多湾のいろいろな問題を学習し、和白干潟の埋め立て計画を知り、反対運動を始めました。1989年、ふくおか東部生協（現グリーンコープ）20周年記念講演会に輝く女性を講師に招き、そのひとり、きりえ画家のくすだひろこさんの「白保の海も熱帯雨林も大事です。同じように私たちの身近にある和白干潟も一緒に守っていきましょう。」という呼びかけに私も賛同し、和白干潟を守る会の会員になりました。長い間名前だけの会員でしたが、親の介護を終え、やっと守る会の活動に参加できるようになりました。

今、干潟のクリーン作戦、ガイド講習会、和白干潟まつりなどの活動の中で、改めて干潟の大切さ、素晴らしさを実感しています。夕日が沈む夕方の干潟も息をのむほど美しい。そして私のイチオシは、干潟の中から見る立花山の景色です。



きりえ「和白干潟賛歌」

## ★ 和白干潟の水質・砂質調査結果

表は2025年4月から2025年9月までの水質調査と砂質調査結果です。和白干潟の水質調査についてはリン・亜硝酸とも色見本の最低ランク付近でした。CODは、8月度が“10”を示しており汚れた状態でした。透視度については、8月が35cmと悪い状態でした。唐原川と和白川では、唐原川の方が汚れている状態です。砂質調査については、表層酸化層の厚さが沖合い150メートル地点よりも浜辺から10メートル地点の方が薄く、浜辺側が汚れています。

水質調査結果 (2025年4月～2025年9月)

| 測定項目                      | 単位   | 4月    | 5月   | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    |
|---------------------------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| リン酸イオン (PO <sub>4</sub> ) | mg/l | 0.02  | 0.02 | 0.02  | 0.02  | 0.02  | 0.02  |
| 化学的酸素要求量 (COD)            | mg/l | 5     | 5    | 5     | 5     | 10    | 5     |
| 亜硝酸 (NO <sub>2</sub> )    | mg/l | 0.005 | 0.02 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 |
| 透視度                       | cm   | 70    | 100  | 75    | 100   | 35    | 60    |

砂質調査結果 (2025年4月～2025年9月)

| 測定項目            | 単位 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 10m地点 表層酸化層の厚さ  | mm | 20 | 14 | 14 | 5  | 4  | 2  |
| 還元層の黒色度         | —  | 13 | 13 | 12 | 13 | 13 | 13 |
| 150m地点 表層酸化層の厚さ | mm | 35 | 20 | 18 | 9  | 3  | 3  |
| 還元層の黒色度         | —  | 13 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 |

唐原川 水質調査結果 (2025年4月～2025年9月)

| 測定項目                      | 単位   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    |
|---------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| リン酸イオン (PO <sub>4</sub> ) | mg/l | 0.02  | 0.05  | 0.05  | 0.02  | 0.02  | 0.05  |
| 化学的酸素要求量 (COD)            | mg/l | 6     | 13    | 20    | 13    | 12    | 16    |
| 亜硝酸 (NO <sub>2</sub> )    | mg/l | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 |

和白川 水質調査結果 (2025年4月～2025年9月)

| 測定項目                      | 単位   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月   |
|---------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| リン酸イオン (PO <sub>4</sub> ) | mg/l | 0.02  | 0.05  | 0.05  | 0.02  | 0.05  | 0.05 |
| 化学的酸素要求量 (COD)            | mg/l | 5     | 6     | 8     | 9     | 7     | 6    |
| 亜硝酸 (NO <sub>2</sub> )    | mg/l | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.01 |

## 守る会問い合わせ窓口

★ホームページ：<https://wajirohigata.sakura.ne.jp/>

- ◎入会／観察会（申込等）
- ◎クリーン作戦
- ◎広報／調査／定例会議
- ◎干潟まつり

- 山之内 芳晴 Tel. 090-8412-2663
- 田辺 スミ子 Tel. 090-1346-0460
- 山本 廣子 Tel. 092-606-0012
- 松尾 満子 Tel. 090-9651-8489



## ★お知らせコーナー★

### ● アオサのお掃除大作戦(和白干潟保全のつどい主催)

日時：11月 3日(月、祝) 13時～15時 場所：海の広場 集合

### ● バードウォッチング(和白干潟保全のつどい主催)

日時：11月29日(土) 14時～16時 場所：海の広場 集合

### ● 九産大特別講義(九州産業大学宗像ゼミ主催)

日時：12月 9日(火) 11時～12時 40分

場所：1号館4階S401教室 講師：山本廣子 テーマ：「和白干潟の自然と私たち」



## ★定例スケジュール★

### ● 定例会議(10/25, 11/22, 12/20)

毎月 第4土曜日 12時～14時 守る会事務所にて開催。  
※12月は 第3土曜日

\*\*\*\*\*

**以下は参加自由です。仲間が待っています!**

### ● クリーン作戦と自然観察(10/25, 11/22, 12/20)

毎月第4土曜日 15時～17時 和白干潟・海の広場集合  
※長靴があると便利。駐車場なし。※12月は第3土曜日

### ● 和白海岸探鳥会(10/12, 11/9, 12/14)

毎月第2日曜日 9時～12時  
JR和白駅前の和白公園 集合  
参加費：一般 300円 中学生以下は無料  
野鳥の会会員 100円  
主 催：日本野鳥の会 福岡支部



#### ★会員募集中

年会費：個人 2,000円

団体 5,000円

#### ★カンパのお願い

郵便振替01720-4-23860

和白干潟を守る会

#### ★ボランティアへのお誘い★

和白干潟の清掃、鳥の調査のお手伝い(車の運転、記録)、観察会のお手伝い(写真撮影)などです。

参加をお待ちしています!

## 和白干潟の鳥たち(その111)

**ソリハシシギ(チドリ目 シギ科/Terek Sandpiper) 反嘴鷗 【全長：23cm】**



写真撮影：三宅 僚

ソリハシシギは旅鳥として春秋の渡りの時期に見られます。和白干潟でも春と秋に立ち寄って行きますが、秋の方が多ようです。秋には10羽くらいの群れで、干潟、河口、岩場でも見られます。長めの嘴が上に反っていて、この名前がつけられました。コメツキガニをよく食べています。キアシシギよりも少し小さくて短足で、可愛いです。とても活発に動き回ります。「ピーピーピー」と3声で鳴くことが多いです。

8月の満潮時にアシ原に8羽飛んできて、カニを探していました。潮が引くと干潟でカニを食べています。暑い中、シギたちが渡っているのですね。秋の渡りは過酷で鳥たちは皆痩せています。シギたちが無事に渡って行くことを祈っています。(山本 廣子)

【編集】 山本 廣子・山之内 芳晴・田辺 スミ子・松田 元・今林 眞由美・松藤 真理奈

〈カット〉 くすだひろこ

★次号は2026年 1月に発行予定★

【編集後記】 太陽光が強く炎暑が残る9月。社会も地球も分断され、壊れるニュースばかり続きました。けれど、干潟の生き物は繋がり合って元気いっぱい。秋は植物も姿を変え、カニや貝、魚や鳥たちも活発で心が浮き立って見えます。渡り鳥たちもやって来ました。つられて私も上機嫌です。(松藤)